

どんなお仕事をしているの？

薄市小学校4年生が社会科見学

薄市小学校4年生が10月24日(水)に社会科見学で町内3施設を訪れました。

はじめに、上下水道課(深郷田上水場)へ行き、家庭の水道の水は、どこからどうやって届けられるのかを設備を見ながら学びました。

続いて武田下水処理施設では、働く人が外に臭いが出ないように気をつけていると聞いて、真剣にメモを取っていました。

最後に中里消防署へ行き、署内や車両の見学をしました。参加した児童は、「消防署でいろいろな車を見たり防火衣を着たりして楽しかった。大変だと思ったけれどもカッコいいと思った」と、町内で働く人へ尊敬の眼差しを向けていました。



食改善で健康づくりを約30年

磯野とし子さんが厚生労働大臣表彰

磯野とし子さんが栄養関係功労者厚生労働大臣表彰に選ばれ、10月30日(火)に濱館町長に報告しました。

磯野さんは31年に渡って、減塩や野菜摂取の大切さなど、食改善の推進に取り組んできました。平成26年には、青森県健康づくり事業功労者等知事表彰にも選ばれています。

磯野さんは「周りの協力があつてこそ受賞できた」と、一緒に食生活改善の道を歩んできた仲間たちに感謝を述べました。

新たな学校の構想案を答申

こどもり小中学校設置検討委員会が答申

こどもり小中学校設置検討委員会(委員長 藤田龍一郎)は、小学校と中学校を統合した新たな学校の構想案を盛り込んだ答申書を、11月12日(月)に濱館町長へ手渡しました。

生徒数減少を見据えて小泊中学校建て替え計画が見直しとなったほか、小泊小学校が津波浸水エリアに含まれていることから、一体的に小・中学校を整備するため、濱館町長が同委員会へ新学校の基本構想を諮問しました。答申の基本構想には、学校形態を「小中一貫校」とし、将来的な移行を踏まえて「義務教育学校」も併記されました。予定地はふれあい運動場周辺で、総面積は約5千平方メートルです。また、災害時に新学校の体育館を避難所とする地域の防災拠点としての役割もあります。

答申を受けて、濱館町長は「しっかりと受け止め、地域にとって素晴らしい学校が建設できるよう検討していく」と決意を伝えました。新学校の建設計画は、答申内容を踏まえて検討が進められていくことになります。

答申を終えた藤田委員長は「新しい学校作りはこれからが始まりだと思う」と今後の協議に期待を込めました。



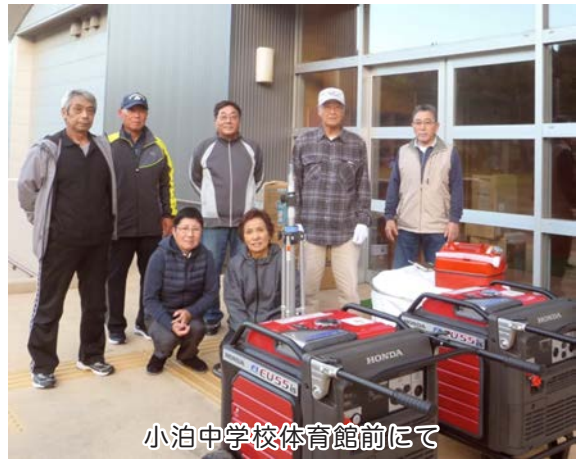
常日頃からの防災態勢を強化

新町2地区自主防災会が宝くじ助成金で防災備品購入

新町2地区自主防災会が、地域防災力の向上を図るため、防災備品を購入しました。

東日本大震災以降、防災・減災に対する意識が高まり、「自分達の地域は自分達で守る」と心一つに団結し、下前地区に続き、平成27年11月に小泊地域で2番目の自主防災組織として、熊本繁春会長を中心に誕生しました。

今回、住民の行うコミュニティ活動を推進し、健全な発展を支援する全国自治宝くじの社会貢献広報事業費の助成金を活用して「ガソリン発電機、ガソリン携行缶、投光機、コードリール、ストーブ、移動式かまど」が配備されました。小泊地域では、今年9月に折戸地区自主防災会も設立されており、今後さらなる地域防災力の向上が期待されます。



小泊中学校体育館前にて



日本赤十字社から長年の貢献に対し感謝状



ハイゼックスにお米を詰める様子

正しい知識を身につける

中里赤十字奉仕団が訓練を実施

中里赤十字奉仕団が、11月14日(水)に中央公民館で炊き出し・救急救命訓練を実施し、団員およそ50人が集まりました。

炊き出し訓練では、日本赤十字社青森県支部から講師を招き、ハイゼックスを使ったお米の炊き方や、カレー作り、蒸しパン作りを体験しました。

救急救命訓練では、中里消防署から講師を招いてAEDの操作や救急電話のかけ方を学びました。

奉仕団委員長の川島久幸さんは「奉仕団員皆様のお陰で訓練が有意義なものになった。相手を思いやり協力する姿勢で今後も活動できれば」と今後の奉仕団活動に対する意気込みを語りました。

「平成30年度納税作品」入賞作品の紹介

町内から2人が入賞

町納税貯蓄組合連合会(下山稲昭会長)では、納税思想を普及啓発するため、町内の小中学校へ「税」に関する作品を募集したところ、習字111点、作文10点が寄せられました。

これらの作品のうち、12点を青森県納税貯蓄組合連合会へ推薦した結果、2点が入賞しました。入賞者及び作品は右のとおりです。(敬称略)

納税思想の高揚
中三年 秋田 陽向

中学生の部
佳作 秋田 陽向(中里中3年)

ぜのいう
二年 くぼた りむ

小学二年生の部
銀賞 久保田理夢(小泊小2年)

航行の安全を守り15年以上

小泊漁協が海上保安部から感謝状

11月1日(木)の「灯台記念日」150周年にあたって、2つの灯台の維持管理に勤めた小泊漁業協同組合(組合長・成田直人)に感謝状が贈呈されました。

小泊漁協が受賞したのは、灯台の維持管理に15年以上携わった団体に贈られる第二管区海上保安部長表彰です。

灯台記念日は、日本で初めての洋式灯台である観音崎灯台(神奈川県)の起工日、明治元年11月1日にちなみ、海上保安庁が定めています。



授賞式に参加する小林寿伸参事



長谷川校長と丸岡署長

租税教育

租税教育推進校等表彰受彰

薄市小学校(校長・長谷川吏香子)が租税教育推進校等表彰に選ばれました。

11月13日(火)に五所川原税務署の丸岡孝樹署長が薄市小学校を訪れ、感謝状を贈呈しました。

薄市小学校では、児童が租税の役割や知識を学ぶ租税教育に積極的に取り組んできたことが評価され、表彰されました。

国税庁では、毎年11月11日から17日を「税を考える週間」と定め、租税の意義や役割、税務行政へ知識と理解を深めるため啓発活動をしています。

剣の腕を競う

新潟精弥杯争奪剣道大会

「仁王」とも呼ばれていたといふ旧中里町出身の剣道範士の名を冠した剣道大会が、11月18日(日)に体育センターで開催されました。

町内外から約250人の小中学生が集まり、日頃の成果で鍛えた剣の腕を競い合いました。会場には、選手たちの気合いの声と竹刀の音が響き渡り、熱気がこもっていました。

町内の選手の結果は次のとおりです。

●中学校男子団体 第3位

中泊剣友会・金木中・秀峰館(混合)



宣誓は葛西竜ノ介君

